

# 令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

## 学校の概要

大阪市立本田小	学校	児童数	113
---------	----	-----	-----

### 平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	14.23	19.10	34.48	36.61	44.63	9.56	140.37	20.43	49.67
大阪市	15.97	18.72	32.66	38.27	45.10	9.50	147.92	20.35	51.13
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
女子	15.25	17.55	38.09	31.74	28.09	10.03	126.56	11.04	47.91
大阪市	15.88	17.85	37.44	36.49	34.75	9.74	140.20	12.69	52.67
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28

### 結果の概要

体力合計点では、男子で全国平均より約2.9ポイント、女子で約6.3ポイント低く、男女ともに大阪市平均からも下回る結果となった。児童質問紙項目「運動やスポーツをすることは好きですか」の回答については、肯定的に答える児童の割合は、男子では約96%、女子では92%となり、男女ともに大阪市平均、全国平均の値を上回った。1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子では約6%、女子では約30%となっており、男女で結果に開きがあることもわかった。

上記の結果から、男女ともに多くの児童が「運動やスポーツが好きである」ことがわかった。その実態は、体育科の学習に表れており、本当に楽しそうに運動する姿がどの学年でも多く見られる。また、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合で男女差が顕著である点、体力合計点が大阪市平均よりも下回っている点も考慮して、日々の体育科の学習で基礎体力の向上に努める必要がある。特に、女子の立ち幅とびでは全国平均と比べると約17ポイント、20mシャトルランでは約8ポイント下回っている。上記の結果と合わせて考えると、体育科の学習以外で体を動かす機会がほとんどないことが原因ではないかと考える。

### これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校では、これまで体育科の学習のなかで児童が体を動かすことが楽しいと感じる実践を進めてきた。しかし、体育科学習以外では、体を動かす習慣が定着していない児童も多く、コロナ禍も経て、基礎体力が低いことが体力テストの各項目での結果につながっていると考えられる。

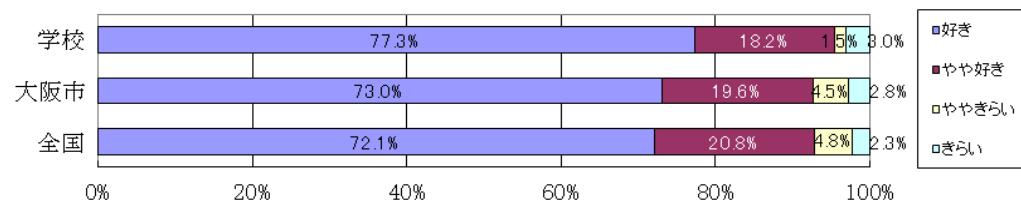
これまでの取り組みとして体育科の学習では児童が活動に意欲的になれるよう、遊びの要素をふまえた体づくり運動を年間を通して取り組んできた。また、区役所の支援事業を活用し、専門性のある運動に触れる機会を設け、運動の楽しさを感じられるようにした。その結果、休み時間の児童の姿として、さまざまな学年が自分に合った技に挑戦しようと、鉄棒に列ができるほど運動に親しむ姿が見られた。また、多くの児童に運動に親しんでもらおうと、休み時間に全校児童が音楽に合わせてさまざまな跳び方を行うことができる「縄跳び集会」を設けたり、各学年ごとに大縄を跳んだりする「わくわくスポーツタイム」を実施してきた。今後も、体を動かす習慣の定着を目指しながら、体力増進につながるような楽しい取り組みを積極的に行っていきたい。

## 運動やスポーツ・体育の授業について(男子)

### 本校の特徴的な結果

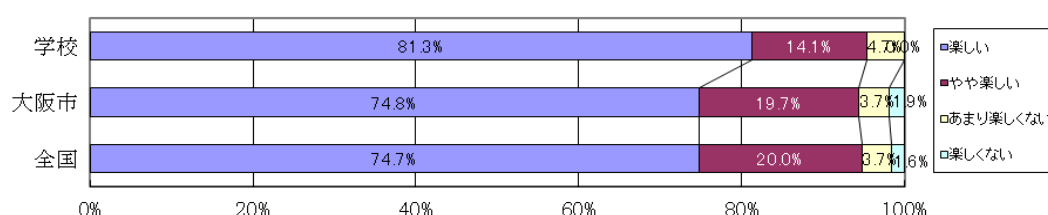
#### 検証項目1

運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。



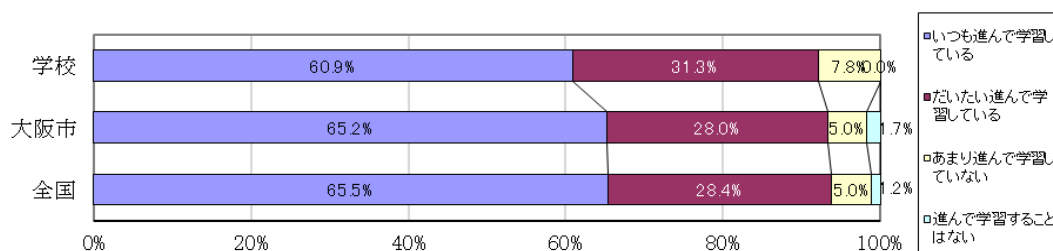
#### 検証項目2

体育の授業は楽しいですか。



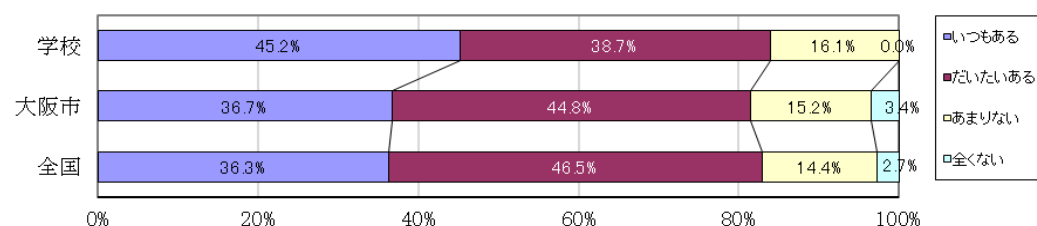
#### 検証項目3

体育の授業では、進んで学習に参加していますか。



#### 検証項目4

体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



### 成果と課題

「運動やスポーツが好きである」、「体育の授業は楽しい」、「体育の授業では、進んで学習に参加している」と、肯定的に答える児童がいずれも9割を超えていることから、楽しく積極的に体を動かす運動ができていると考えられる。また、「できたり、わかったりする」楽しさも多くの児童が感じながら取り組んでいる様子である。子どもたちの運動に対する楽しさを大切にするとともに、今後は基礎体力の向上に努める必要がある。

### 今後の取組

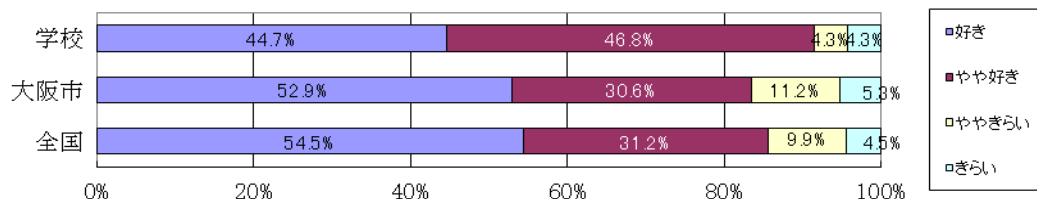
質問紙の結果から、体育科学習や運動に対して高い意欲があるので、体を動かす習慣が定着するように、遊びの要素をふまえた体づくり運動を引き続き行っていく、基礎体力の向上へとつなげていきたい。また、できる喜びやわかる喜びを友だちと共有することで、運動に対する肯定的な輪をさらに広げ、体育科の学習以外でも体を動かす機会を増やし、課題であった持久力や瞬発力の向上へとつなげたい。

## 運動やスポーツ・体育の授業について(女子)

### 本校の特徴的な結果

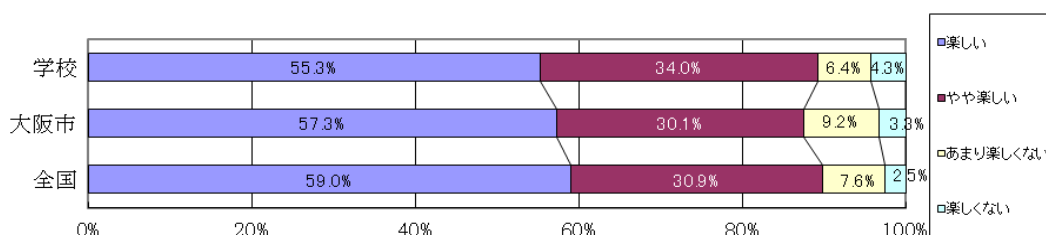
#### 検証項目1

運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。



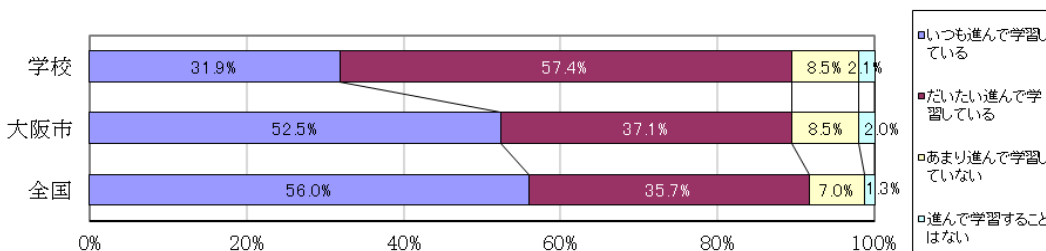
#### 検証項目2

体育の授業は楽しいですか。



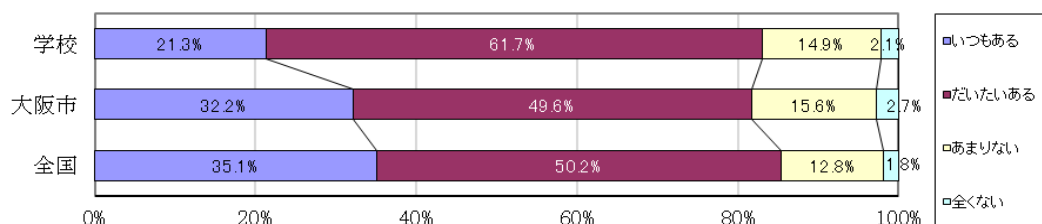
#### 検証項目3

体育の授業では、進んで学習に参加していますか。



#### 検証項目4

体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



### 成果と課題

「運動やスポーツが好きである」、「体育の授業は楽しい」と、肯定的に答える児童がいずれも8割を超えている。ただ、「体育の授業では、進んで学習に参加している」の質問項目に対しては、最も肯定的に答える児童の割合が少ない結果となっている。この検証項目と体力合計点の結果から、体育科の学習や運動をすることについては、楽しく体を動かすことができているが、苦手意識からか運動に対してはいささか消極的であると考えられる。今後は、運動をする楽しさから「できる喜び」が感じられる体験を積み、運動をする習慣の定着へとつなげる必要がある。

### 今後の取組

質問紙の結果から、体育科学習や運動に対して高い意欲を維持しつつ成功体験を重ね、友だちと助け合ったり、教え合ったりして学習する喜びを感じていきたい。また、これまで行ってきた遊びの要素をふまえた体づくり運動を継続して取り組み、基礎体力の向上を目指していきたい。